音声用テキスト

令和7年4月から令和８年3月までの、名古屋市ほうさ文庫、名古屋市秀よし清正記念館、名古屋市博物館（長期休館ちゅう）の年間スケジュール

# 名古屋市ほうさ文庫の事業案内

## 企画展　千代姫の華麗なる生涯

令和7年4月12日（土曜日）から6月８日（日曜日）

将軍家との橋渡し役となり、尾張徳川けの繁栄の基礎を築いた千代姫の生涯を振り返ります。

## 徳川美術館・ほうさ文庫開館90周年記念　夏季特別展　ときをかける名刀

令和７年６月14日（土曜日）から９月７日（日曜日）

大名・尾張徳川けに伝来した名刀のなかには、複数の天下びとの手を渡り、戦乱をくぐり抜けてきたという輝かしいエピソードを持つ刀剣や、戦功や慶じの祝儀に贈られたという縁起の良いエピソードを持つ刀剣が数多くあります。刀剣の価値・重要性は、こうした由緒によって高められていきました。

本展では徳川美術館の所蔵刀剣・とうそうを軸として、歴史に名を馳せた武将や大名ら由縁の品々を展示し、歴史的背景の面白さと、作品そのものの美しさの両側面から、刀剣の奥深い魅力を紹介します。

## 徳川美術館・ほうさ文庫開館90周年記念　秋季特別展　尾張徳川け　名品のすべて

令和７年９月13日（土曜日）から11月９日（日曜日）

昭和10年（西暦1935年）、徳川美術館は名古屋で開館し、ほうさ文庫は東京目白の尾張徳川け邸内に開館ののち、同25年に名古屋市に移管されました。ともに御三家筆頭であった尾張徳川けの収蔵品を守り伝える施設として、活動を続けています。

本展では、重要文化財を含む名品と、昭和から令和に至る90年の歩みを物語る関連資料を通して、徳川美術館とほうさ文庫の全貌を紹介します。

## 企画展　徳川りんせい史研究所連携企画　尾張家臣団

令和７年11月15日（土曜日）から12月14日（日曜日）まで

尾張徳川家をささえた家臣たちにスポットを当てて、彼らにまつわる歴史資料をもとにその実像に迫ります。

## 企画展　日本の神々　降臨

令和８年１月４日（日曜日）から2月１日（日曜日）

神の鎮座地や祀る人々、そしてさまざまな祭りに注目し、日本人と神との関係をひもときます。

## 企画展　金沢文庫・ほうさ文庫交流展　金沢文庫本　さすらう本の物語

令和８年２月７日（土曜日）から4月５日（日曜日）

日本が世界に誇る古典籍“金沢文庫本”を有する金沢文庫とほうさ文庫両かんが連携し、蔵書を守り伝えてきたあゆみを紹介します。

## ほうさ文庫利用案内

郵便番号 4 6 1 0 0 2 3

名古屋市　東区徳川町１００１

電話　０５２９５３２１７３

ファックス　０５２９５３２１７４

開館時間は午前10時から午後5時まで。ただし入室は午後4時30分まで

休館びは月曜日。ただし祝日の場合は、直後の平日。令和７年12月15日（月曜日）から令和８年1月３日（土曜日）は特別整理・年末年始休館。

観覧料は徳川美術館と共通で、一般1600円、高校生・大学生は800円、小学生・中学生は500円。

交通は名古屋駅から、市バス基幹バス2号系統・名鉄バス「さかえ経由」で「徳川園新出来」下車、徒歩3分。名古屋観光ルートバス　メーグルで「徳川園・徳川美術館・ほうさ文庫」下車すぐ。JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分。

# 名古屋市秀よし清正記念館の事業案内

## パネル展 清正伝説と信仰

令和7年5月６日（火曜日・振替休日）まで

秀よし配下の武将で肥後の国（熊本県）の領主にもなった加藤清正。史実と伝説とが織りなして今に受け継がれている清正への思いを紹介します。

## 特集展示　武者絵の中の秀よし・清正

令和7年5月24日（土曜日）から7月６日（日曜日）まで

江戸時代から明治にかけて、合戦シーンの想像図がたくさん色鮮やかに表現されました。現代の秀よし・清正イメージにつながる躍動感ある姿を紹介します。

## パネル展 絵本太閤記の今を訪ねる

令和７年７月19日（土曜日）から9月23日（火曜日・祝日）まで

秀よしの出世物語を江戸時代の庶民に浸透させた『絵本太閤記』。秀よし生誕から信長の岐阜入城までの物語の舞台の現在を、挿絵と並べて紹介します。

## パネル展　秀よし・秀ながの駆けた古戦場

前編 令和７年10月４日（土曜日）から11月9日（日曜日）

後編 令和7年12月６日（土曜日）から令和８年1月12日（月曜日・祝日）

秀よし・秀ながの兄弟主従は、ときに共に戦い、また秀ながは時に兄の代理として戦場に赴いたりもしました。西に東に、兄弟が戦った地を紹介します。

## 特別陳列　ながしの合戦　三英傑は共に戦った

令和８年１月17日（土曜日）から3月１日（日曜日）

強力な武田軍が大量の火縄銃に破れたことで有名な「ながしの・したらがはらの戦い」。実は信長・秀よし・家康が勢ぞろいした合戦でした。その詳細を紹介します。

## パネル展　清正　秀よしを支え続けた武将

令和８年３月14日（土曜日）から5月６日（水曜日・振替休日）

秀よしの親戚ともみられる清正は、少年のころから秀よしに仕え、ふんこつさいしんし続けた家臣でした。秀よし死後も遺児秀頼を見守りつつ亡くなった生涯を紹介します。

## 秀よし清正記念館利用案内

郵便番号4 5 3 0 0 5 3

名古屋市中村区中村町茶ノ木25　中村公園文化プラザ2階

電話０５２４１１００３５

ファックス０５２４１１９９８７

開館時間は午前9時30分から午後5時まで

休館びは毎週月曜日。ただし祝日の場合は、直後の平日。第4火曜日。ただし祝日を除く。

館内点検のため、令和７年11月10日（月曜日）から11月25日（火曜日）まで休館します。また、年末年始のため、12月29日（月曜日）から令和８年1月3日（土曜日）まで休館します。

観覧料は無料

交通は地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口を北へ徒歩10分。市バスの場合は、名古屋駅から「めい駅25系統　中村巡回」で「豊国神社」下車、徒歩2分。

# 名古屋市博物館の事業案内

名古屋市博物館は昭和52年（西暦1977年）に開館した歴史系の総合博物館です。 ただいまリニューアル工事のため、長期休館中です。令和8年（西暦2026年）にプレオープンします。休館中でも行われている事業について案内します。

## 歴史体験キット「くみひもづくり」

千年以上の歴史を持つ伝統工芸ひん「くみひも」 を作ってみませんか。丸台と、糸がセットされた組玉が入っており、ご家庭ですぐ始められるキットです。

申し込みは利用希望日の２か月前から1週間前。先着順。１回の申し込みにつき５セットまで。

貸出期間は２週間、貸出料金は500 円（税込）。

利用手続き・申し込みは公式サイト催し物・イベントページから。

## 「夏休みのチャレンジ！くみひもづくり」

小中学生向けにご用意した、くみひもを作るキットです。

申し込みは令和７年７月１日（火曜日）から。先着順・定員に達し次第終了。

貸出期間は７月17日（木曜日）から9月３日（水曜日）のうちの13にちかん。

貸出料金は500円（税込）。

## 歴史体験セミナー　大人のための「くみひもづくり」要事前申し込み

学芸員の解説付きで、ひらくみひもづくりを体験できるセミナーです。

開催日時は令和７年８月21日（木曜日）午前・午後の2回開催。午前は10時から11時30分。午後は2時から３時30分。定員は各回先着10名。

会場は名古屋市博物館仮事務所、公共交通機関をご利用ください。

申し込み方法は名古屋市電子申請サービスから。（https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya）。申し込み期間は7月28日（月曜日）から８月19日（火曜日）まで。参加費は500円（税込）。参加にあたり障害等により特別な配慮が必要なかたは申し込みじにご記載ください。

## なごやのうつりかわり

小学校３年生の社会科単元に対応した事業です。「電化前の暮らし」「電化後の暮らし」を通じて、暮らしのうつりかわりを体験できます。会場は名古屋市美術館（中区さかえ 2 の17の25、白川公園内）です。

一般のかたは、令和８年１月 17 日（土曜日）から ３ 月 ８ 日（日曜日）の 土曜日と日曜日、お よ び２月 11 日（水曜日・祝日）、23 日（月曜日・祝日）にご利用いただけます。あわせてデジタル教材「なごやのうつりかわり」もご活用ください。デジタル教材は公式サイトからご利用いただけます。

### 名古屋市博物館のロゴ・シンボルマークが完成しました

シンボルマークは、博物館の特徴的な建築デザインと「NAGOYA CITY MUSEUM」の頭文字である「NCM」を融合させたものです。ロゴタイプはシンボルマークが持つ角度や形状から組み立て、新たに生み出した書体です。

### データベースに秀よし清正記念館が加わりました

名古屋市博物館収蔵品データベースに秀よし清正記念館収蔵品のデータ（410件）が新たに加わりました。データベースは博物館ホームページから利用できます。博物館の収蔵品とあわせてご活用ください。

### 名古屋市博物館資料図版目録11『しぼり染めコレクション　有松・鳴海しぼりと日本のしぼり』

有松・鳴海しぼりを中心とする近代のしぼり染め製品160点をまとめた１冊です。すべての資料をカラー図版で紹介し、あわせてしぼり染め技法一覧やコレクションについての解説を掲載しています。A４判112ページ、価格1,100円税込み。通信販売などの購入方法は公式サイトをご覧ください。

### よみがえれ文化財

博物館・分館が所蔵する資料を修復・活用するために広く寄附を募っています。これまでに美術品や古文書の修復、出土遺物の保存処理、写真資料のデジタル化などをおこなってきました。ふるさと納税制度を利用した寄附です。みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 名古屋市博物館利用案内

郵便番号4 6 7 0 8 0 6

名古屋市瑞穂区みずほ通り一丁目27の1

電話０５２８５３２６５５（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）

ファックス０５２８５３３６３６